

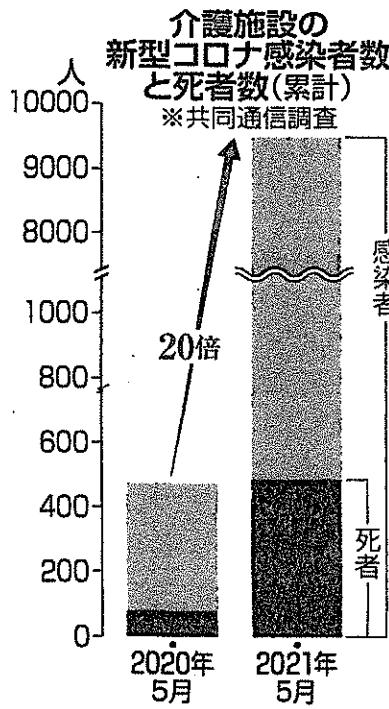
介護施設累計感染 全国累計9490人 486人死亡

高齢者が入所する介護施設で、新型コロナウイルスに感染した入所者が全国で少なくとも累計九千四百九十九人おり、このうち四百八十人が亡くなっていたこと

死者七十九人。感染者は一年で約二十倍となつた。非公表とする自治体もあり、実際の数はさらに多いとみられる。

十六人が亡くなっていたことが三十日、共同通信の調査で分かつた。四十六自治体が、入院が必要にもかかわらず施設にとどまつた高齢者がいたと回答した。昨年五月に共同通信が実施した同様の調査では、感染した入所者は四百七十四人、

介護現場では本来の業務に加え、感染防止策、コロナ療養も担うなど負担が激増。感染弱者の高齢者に病床逼迫のしわ寄せが及んでいる恐れもある。厚生労働省は介護施設での感染者数を集計していない。実態把握を踏まえた手厚い対策があつた。



必要だ。

都道府県、政令市、中核市、東京二十三区の計百五十二自治体に昨年一月から今月十日までの累計を尋ね、百四十九自治体から回答を得た。質問によつてクラスター（感染者集団）分のみの回答や、非公表、未集計とする自治体もあつた。

感染が確認された施設は特別養護老人ホームや介護老人保健施設など少なくとも千二百八十五施設。死者数が最も多かつたのは都道府県では埼玉県の八十七人。政令市では横浜市六十七人（クラスター分のみ）、中核市では大阪府枚方市の二十五人。福井県と福井市の死者数は非公表。

陽性となり入院が必要にまつた例を把握しているのは北海道、栃木県、熊本県など四十六自治体だった。

国への要望として「十分な入院病床の確保」（大阪府吹田市）、「施設職員への誹謗中傷の強力な抑止策」（静岡県）などが挙がつた。

介護施設 感染深刻



極限の現場 負の連鎖

介護施設で新型コロナウイルスの感染拡大が止まりない。入院できず施設にとどまる上で感染者はさらに増え、人手不足は深刻化。「負の連鎖」にならずすべではなく、全ての負担が現場に重くのしかかる。公的支援は乏しく、一年以上に及ぶコロナとの闘いに職員の疲労は極限に達している。

人手限界、入院先なく隔離も困難

▽連続24時間

「職員一人で十人の入居者をみていて、連続二十四時間働く」ともあった。

名古屋市の特別養護老人ホーム（特養）「あんのん」の吉田貴宏施設長（三）は振り返る。昨年八月、職員の陽性が判明。最終的に入居者八人、職員三人が感染した。

認知症の人は「入院中の対応が難しい」としてすぐ

に受け入れてくれる病院は

東京都内の特別養護老人ホーム＝2020年5月
(同老人ホーム提供)

見つからなかつた。フロアには陽性と陰性の入居者が混在し、部屋から自由に出てきてしまう。「拘束なん

てできない。少ない人手では隔離に限界があつた」感染リスクは高まり、入

居者の家族から批判も受けた。吉田施設長は苦渋の対応だったとしつつも「特養は入所者約六十人が感染し、十三人が死亡。神戸市でも入所者百人以上が感染し三十人以上が亡くなつた。いずれも入院できず施設で亡くなつた人が多数含まれる。

実際に、大阪府門真市では入所者約六十人が感染し、十三人が死亡。神戸市でも入所者百人以上が感染し三十人以上が亡くなつた。いずれも入院できず施設で亡くなつた人が多数含まれる。

東洋大の早坂聰久准教授（社会福祉学）は「基本的に施設で療養させてはいけない」とこぎを刺す。介護施設での療養を余儀なくされる高齢者が増えるためだ。さらなる人手不足や感染拡大につながる負の連鎖を招く。

東洋大の早坂聰久准教授（社会福祉学）は「基本的に施設で療養させてはいけない」とこぎを刺す。介護施設での療養を余儀なくされる高齢者が増えるためだ。さらなる人手不足や感染拡大につながる負の連鎖を招く。

疗養させる場合、感染者一人当たり最大十五万円を補助すると打ち出した。感染防止や疗養の質確保に充てるための費用とし、重症化しやすい高齢者を施設にとどめる」とを容認した形だ。施設関係者からは「日々の感染対策だけでも相当な出費。これだけでは足りない」との声も上がる。

▽厳戒態勢

国内初感染から一年超、

国は五月、介護施設内で

宮城県の特養で統括施設長も務める早坂氏は、こう訴える。「クラスターの有無にかかわらず介護現場は常に厳戒態勢。人手不足も深刻で、国には現場を立て直す仕組みをつくってほしい」